

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2003-302685 (P2003-302685A)
【公開日】平成 15 年 10 月 24 日 (2003.10.24)
【出願番号】特願 2002-107664 (P2002-107664)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/18

G 0 3 B 17/56

【F I】

G 0 3 B 17/02

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/56 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 25 日 (2005.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくともアイコンを表示することができる表示部と、
前記表示部に密着又は近接して設けられたタッチセンサと、
前記表示部及び前記タッチセンサからなるタッチパネルを制御する制御部と、
を備え、
各種操作入力を前記タッチパネルにより行うことができるカメラであって、
前記制御部は、前記タッチパネルによる操作入力の仕様を変更できること、
を特徴とするカメラ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のカメラにおいて、
前記制御部が変更することができる前記仕様は、前記アイコンの表示位置、前記アイコンの表示サイズ、表示するアイコンにより操作入力する操作内容のいずれかひとつを含むこと、
を特徴とするカメラ。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載のカメラにおいて、
カメラの姿勢を検出する姿勢検出部を備え、
前記制御部は、前記仕様を、前記姿勢検出部の検出結果に応じて変更できること、
を特徴とするカメラ。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 までのいずれか 1 項に記載のカメラにおいて、
前記制御部は、前記仕様を、撮影者自身の使い勝手に合わせて変更できること、
を特徴とするカメラ。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のカメラにおいて、
撮影者自身が設定した前記仕様を記憶する記憶部を有すること、

を特徴とするカメラ。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 までのいずれか 1 項に記載のカメラにおいて、
前記制御部により変更する操作入力の仕様には、撮影被写体像を観察しながら A F エリ
アを指定することを含むこと、
を特徴とするカメラ。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 までのいずれか 1 項に記載のカメラにおいて、
前記制御部により変更する操作入力の仕様には、撮影被写体像を観察しながら露出基準
とする位置を指定することを含むこと、
を特徴とするカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 5 の発明は、請求項 4 に記載のカメラにおいて、撮影者自身が設定した前記仕様
を記憶する記憶部（2 5 a）を有すること、を特徴とするカメラである。

請求項 6 の発明は、請求項 1 から請求項 5 までのいずれか 1 項に記載のカメラにおいて
、前記制御部（2 5）により変更する操作入力の仕様には、撮影被写体像を観察しながら
A F エリアを指定することを含むこと、を特徴とするカメラである。

請求項 7 の発明は、請求項 1 から請求項 6 までのいずれか 1 項に記載のカメラにおいて
、前記制御部（2 5）により変更する操作入力の仕様には、撮影被写体像を観察しながら
露出基準とする位置を指定することを含むこと、を特徴とするカメラである。